

はじめに

― 003

江戸の地霊・東京の地縁―鉄砲洲本湊町の「福井家文書」を読む

塩崎文雄

- 1 震災復興期の仕舞屋建築と福井家家蔵文書と ― 015
- 2 松阪家の人びと―検事総長とモスリン業者と社会民族学者と ― 024
- 3 福井家の人びと―その1 質商福井新助の蓄財 ― 032
- 4 『江戸名所図会』をしおりに―〈本湊〉という街 その1 ― 037
- 5 都心のエア・ポケット―〈本湊〉という街 その2 ― 045
- 6 福井家の人びと―その2 貸地・貸業者福井久信の敏腕 ― 058
- 7 去り状のこと―「なかじきり」風に ― 069
- 8 東京ライフスタイル―〈町内に住まう〉と〈うらやまう〉 ― 075
- 9 福井家展墓のこと―福井家家譜・補遺 ― 080
- 10 〈地縁〉のあれこれ―福井家の土地集積の一面 ― 087
- 11 久信の貸地・貸家業の基盤について―(附) 鹿嶋清兵衛・ぼん太のこと ― 093
- 12 〈家刀自のはたらき〉のこと ― 102

本湊町建て直し―「福井家文書」にみる震災復興

鈴木 努

- 1 本湊町と四囲の町場―銀座・築地・本所深川・八丁堀 ― 113
- 2 現在の中央区湊 ― 121
- 3 関東大震災と本湊町、福井家 ― 124
- 4 福井家の被災 ― 128
- 5 民の復興 ― 132
- 6 福井家の復興 ― 135
- 7 バラックの改修・本建築 ― 147
- 8 地主の役割 ― 150

生きられたレジャー革命―福井家の余暇とその舞台

長尾洋子

- 1 旅行ブームという窓から ― 165
- 2 福井家の昭和戦前期 ― 168
- 3 熱海・新玉旅館のなじみ客 ― 173
- 4 追憶としての鎌倉 ― 180
- 5 網島に遊ぶ―「桃の名所」の成立と福井家のレジャー空間 ― 189

6 享受を越えて―異質性の混在 ――― 209

郊外を拓き、郊外に住まう―「成城」から読み直す郊外開発の歴史 荒垣恒明 ――― 213

- 1 東京市内から郊外へ ――― 213
- 2 成城学園、郊外をめざす ――― 216
- 3 成城学園、町を拓く ――― 223
- 4 学園町に住まう ――― 237
- 5 学園町の多彩な面々 ――― 244
- 6 文化的に住まう、快適に住まう ――― 252
- 7 学園町のその後―いくつかの展望 ――― 260

川島忠之助のばあい―江戸の地霊・東京の地縁 拾遺 塩崎文雄 ――― 273

- 1 もうひとりの貸家経営者 ――― 273
- 2 消えた翻訳家 ――― 274
- 3 川島忠之助というひと ――― 276
- 4 「川島忠之助家文書」とのめぐりあい ――― 287
- 5 女たちの記録―その1 須美子の「予定表」と「惣菜購入簿」 ――― 292

- 6 女たちの記録―その2 慶子の「家計簿」(附)御大喪のごととも ――― 302
- 7 本郷丸山福山町の貸家を読む ――― 310

「福井家文書」解題 鈴木 努 ――― 323

- 1 福井家について ――― 324
 - 2 「福井家文書」の整理 ――― 326
 - 3 各群と史料の解説 ――― 332
 - 4 町並みの記録 ――― 364
 - 5 反故紙の復権―「福井家文書」の効能 ――― 366
- あとがき ――― 369